

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 株式会社ヨロズ 上場取引所 東
コード番号 7294 URL <http://www.yorozu-corp.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 平中 勉
問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員（氏名） 矢後 敏之（TEL）045-543-6802
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月10日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	83,763	△7.9	1,009	736.1	842	—	152	—
2025年3月期中間期	90,942	7.9	120	△74.3	△1,958	—	△2,588	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △97百万円（—％） 2025年3月期中間期 464百万円（△93.6％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	6.27	6.17
2025年3月期中間期	△106.25	—

（注）2025年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失金額であるため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	129,356	60,498	39.9
2025年3月期	136,601	61,204	38.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 51,672百万円 2025年3月期 52,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	15.00	—	16.00	31.00
2026年3月期	—	15.00			
2026年3月期（予想）			—	16.00	31.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	169,000	△5.3	2,600	771.2	1,800	—	800	—	32.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社 (社名) 、除外 ―社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	25,055,636株	2025年3月期	25,055,636株
2026年3月期中間期	753,359株	2025年3月期	756,859株
2026年3月期中間期	24,243,858株	2025年3月期中間期	24,365,140株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催時に当社ホームページで掲載する予定です。

・2025年11月28日 (金) ・ ・ ・ ・ 機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、米国の通商政策動向、地政学リスク、中国における経済減速が重なるなど、過去に例を見ない不確実性が高い状況が続いております。

当社グループが関連する自動車産業の生産台数は、昨年から続いている中国における日米欧系OEMの減産影響、米国の関税影響などにより、厳しい状況が続いております。

このような状況下において当社グループの売上高は、日本、アジアの生産台数の減少、米州の為替換算の影響・金型売上の減少などにより、前中間連結会計期間(以下、「前年同期」という。)に比べ7.9%減の83,763百万円となりました。営業利益は、売上の減少などに伴う減益や昨年より操業開始したヨロズサステナブルマニュファクチャリングセンター(YSMC)のフル生産に向けた準備費用などがあったものの、2025年1月に立ち上げた全社活動である「Success 25V」合理化活動の推進、品質改善などにより、前年同期比8.4倍の1,009百万円となりました。経常利益は営業利益の改善などにより前年同期比2,801百万円増の842百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比2,740百万円増の152百万円となりました。

なお、連結決算における海外子会社損益の円換算には、各子会社決算期の平均レートを使用しており、当中間連結会計期間の米ドルレート(1～6月)は、148.48円/ドル(前年同会計期間は152.36円/ドル)であります。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

①日本

売上高は、生産台数の減少などにより、前年同期比2.6%減の27,366百万円となりました。営業利益は、YSMCのフル生産に向けた準備費用の計上などもあり、前年同期比59.1%減の255百万円となりました。

②米州

売上高は、為替換算の影響やメキシコでの金型売上の減少などにより前年同期比4.0%減の44,088百万円となりました。営業利益は、品質改善と合理化の効果などにより前年同期比1,667百万円増の520百万円となりました。

③アジア

売上高は、中国での生産台数の大幅な減少に加え、タイ、インドネシアなどでも生産台数が減少し、前年同期比23.1%減の15,707百万円となりました。営業利益は、生産台数が大幅に減少する中でも合理化に努め、前年同期比95百万円増の182百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ6,881百万円減少の74,278百万円となりました。これは「仕掛品」が414百万円、「原材料及び貯蔵品」が372百万円、「製品」が298百万円それぞれ増加したものの、「現金及び預金」が8,000百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ363百万円減少の55,078百万円となりました。これは「投資その他の資産」が708百万円、「機械装置及び運搬具(純額)」が397百万円それぞれ増加したものの、「建物及び構築物(純額)」が934百万円、「建設仮勘定」が719百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ7,245百万円減少の129,356百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ5,676百万円減少の45,615百万円となりました。

これは「短期借入金」が4,710百万円、「支払手形及び買掛金」が1,987百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ863百万円減少の23,241百万円となりました。これは「長期借入金」が818百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ6,539百万円減少の68,857百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ705百万円減少の60,498百万円となりました。これは「その他有価証券評価差額金」が694百万円増加したものの、「為替換算調整勘定」が886百万円、「利益剰余金」が236百万円それぞれ減少したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2025年5月15日の「2025年3月期決算短信(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想値から、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえて修正を行っております。

詳細につきましては、本日付公表の「2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,929	19,929
受取手形及び売掛金	27,383	27,761
電子記録債権	2,364	2,361
製品	3,430	3,729
原材料及び貯蔵品	1,290	1,663
部分品	4,458	4,226
仕掛品	8,000	8,414
その他	7,057	6,854
貸倒引当金	△753	△661
流動資産合計	81,159	74,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,111	16,176
機械装置及び運搬具(純額)	18,408	18,806
建設仮勘定	4,106	3,386
その他(純額)	6,012	6,136
有形固定資産合計	45,638	44,505
無形固定資産	141	202
投資その他の資産	9,661	10,370
固定資産合計	55,441	55,078
資産合計	136,601	129,356

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,033	13,045
電子記録債務	1,949	2,385
短期借入金	11,842	7,131
1年内返済予定の長期借入金	9,504	8,896
未払金	1,842	2,137
未払法人税等	278	541
賞与引当金	1,346	1,696
役員賞与引当金	82	96
その他	9,412	9,683
流動負債合計	51,292	45,615
固定負債		
長期借入金	17,390	16,572
退職給付に係る負債	1,102	939
その他	5,611	5,730
固定負債合計	24,105	23,241
負債合計	75,397	68,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,200	6,200
資本剰余金	9,136	9,094
利益剰余金	29,729	29,493
自己株式	△1,031	△984
株主資本合計	44,036	43,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,597	4,292
為替換算調整勘定	4,867	3,981
退職給付に係る調整累計額	△491	△405
その他の包括利益累計額合計	7,973	7,868
新株予約権	517	492
非支配株主持分	8,676	8,334
純資産合計	61,204	60,498
負債純資産合計	136,601	129,356

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	90,942	83,763
売上原価	82,123	75,256
売上総利益	8,818	8,507
販売費及び一般管理費	8,698	7,497
営業利益	120	1,009
営業外収益		
受取利息	182	139
受取配当金	134	129
為替差益	—	102
デリバティブ評価益	—	72
法人税等還付加算金	—	76
その他	41	51
営業外収益合計	358	573
営業外費用		
支払利息	469	504
為替差損	1,687	—
開業費	221	230
デリバティブ評価損	54	—
その他	4	5
営業外費用合計	2,438	740
経常利益又は経常損失(△)	△1,958	842
特別利益		
固定資産売却益	30	4
受取保険金	—	44
その他	10	0
特別利益合計	41	49
特別損失		
保険解約損	3	43
固定資産廃棄損	0	3
経済補償金	—	99
特別損失合計	3	146
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△1,921	745
法人税等	660	484
中間純利益又は中間純損失(△)	△2,581	260
非支配株主に帰属する中間純利益	7	108
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△2,588	152

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△2,581	260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△793	694
為替換算調整勘定	4,004	△1,154
退職給付に係る調整額	△164	101
その他の包括利益合計	3,045	△358
中間包括利益	464	△97
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△423	237
非支配株主に係る中間包括利益	888	△334

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△1,921	745
減価償却費	3,871	2,965
貸倒引当金の増減額(△は減少)	46	△81
賞与引当金の増減額(△は減少)	540	370
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△131	△66
受取利息及び受取配当金	△317	△269
支払利息	469	504
為替差損益(△は益)	△98	110
売上債権の増減額(△は増加)	△1,932	△1,122
有償支給未収入金の増減額(△は増加)	△78	83
棚卸資産の増減額(△は増加)	△318	△1,271
未収入金の増減額(△は増加)	1,255	983
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,376	△239
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,278	△1,232
その他の負債の増減額(△は減少)	2,276	1,002
小計	1,006	2,482
利息及び配当金の受取額	318	275
利息の支払額	△470	△488
法人税等の支払額	△1,416	△773
営業活動によるキャッシュ・フロー	△561	1,497
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,915	△2,411
無形固定資産の取得による支出	△44	△72
定期預金の払戻による収入	—	2,531
その他の支出	△150	△78
その他の収入	79	273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,031	242
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△713	△4,281
長期借入れによる収入	4,434	1,484
長期借入金の返済による支出	△3,707	△2,545
配当金の支払額	△412	△388
非支配株主への配当金の支払額	△32	△8
セール・アンド・リースバックによる収入	2,495	—
その他	93	△184
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,157	△5,923
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,136	△1,176
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△298	△5,360
現金及び現金同等物の期首残高	22,287	25,289
現金及び現金同等物の中間期末残高	21,988	19,929

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	24,797	45,798	20,346	90,942
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,288	128	70	3,487
計	28,085	45,926	20,417	94,430
セグメント利益又は損失(△)	624	△1,147	86	△435

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△435
セグメント間取引調整額	556
中間連結損益計算書の営業利益	120

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	24,103	43,958	15,701	83,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,262	129	6	3,398
計	27,366	44,088	15,707	87,162
セグメント利益	255	520	182	958

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	958
セグメント間取引調整額	51
中間連結損益計算書の営業利益	1,009